



2021年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月11日

上場会社名 株式会社オハラ 上場取引所 東
 コード番号 5218 URL https://www.ohara-inc.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)齋藤 弘和
 問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員 (氏名)中島 隆 (TEL) 042(772)2101
 四半期報告書提出予定日 2021年6月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第2四半期の連結業績 (2020年11月1日～2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	10,538	11.6	284	—	501	—	292	—
2020年10月期第2四半期	9,444	△25.3	△1,000	—	△897	—	△1,134	—

(注) 包括利益 2021年10月期第2四半期 1,844百万円 (—%) 2020年10月期第2四半期 △1,930百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	12.01	—
2020年10月期第2四半期	△46.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第2四半期	51,453	37,796	73.3
2020年10月期	49,621	36,183	72.9

(参考) 自己資本 2021年10月期第2四半期 37,726百万円 2020年10月期 36,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年10月期	—	0.00	—	—	—
2021年10月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の連結業績予想 (2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,700	21.4	1,200	—	1,300	—	600	—	24.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社、除外 - 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年10月期2Q	25,450,000株	2020年10月期	25,450,000株
2021年10月期2Q	1,098,578株	2020年10月期	1,110,978株
2021年10月期2Q	24,341,533株	2020年10月期2Q	24,339,060株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託 (BBT)」に係る信託財産として「株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)」が保有する当社株式 (2021年10月期2Q 76,000株、2020年10月期88,500株) が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、一部地域では感染対策と経済活動の両立が進み、回復に向かいました。米国や中国などでは、ワクチン接種の拡大を受け、緩やかな景気回復が進んだものの、その他の地域では、新型コロナウイルス感染症の変異株による感染再拡大が発生するなど、不透明な状況が続いており、各国での回復ペースには大きな差が生じました。

当社グループの光事業の関連市場については、デジタルカメラは、新型コロナウイルス感染症の影響により前期に需要が急減しましたが、当期間ではミラーレスカメラ向けを中心に需要の持ち直しが見られ、改善へ向かいました。また、エレクトロニクス事業の関連市場については、半導体露光装置、FPD露光装置ともに堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、光学機器向けレンズ材や極低膨張ガラスセラミックスの販売が増加したことなどから、10,538百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

損益面では、売上総利益は、生産設備の稼働率が改善したことや減価償却費の減少などにより2,685百万円（同54.0%増）となりました。販売費及び一般管理費は、2,401百万円（同12.5%減）となり、営業利益は284百万円（前年同期は1,000百万円の営業損失）となりました。経常利益は、営業外収益として助成金収入を計上したことなどにより、501百万円（前年同期は897百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益を計上したことなどにより、292百万円（前年同期は1,134百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より事業セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しております。詳細につきましては、（セグメント情報等）をご覧ください。

① 光事業

当事業の売上高は、ミラーレスカメラを中心としたデジタルカメラ市場の回復により光学機器向けレンズ材の販売が増加したことなどから、6,220百万円（前年同期比17.3%増）となりました。損益面では、光学ガラスの需要増加により、生産設備の稼働率が改善したことなどから、営業利益は70百万円（前年同期は466百万円の営業損失）となりました。

② エレクトロニクス事業

当事業の売上高は、旺盛な半導体需要により、半導体露光装置向け高均質ガラスの販売が堅調に推移したことや、中小型向け有機ELパネルの需要増加により、FPD露光装置向け極低膨張ガラスセラミックスの販売が増加したことなどから、4,317百万円（前年同期比4.2%増）となりました。損益面では、生産設備の稼働率が改善したことや販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、営業利益は213百万円（前年同期は534百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は51,453百万円(前連結会計年度末比3.7%増)となりました。これは、受取手形及び売掛金や投資有価証券が増加したことなどが主な要因であります。

流動資産の残高は29,554百万円(同3.9%増)となりました。これは、受取手形及び売掛金や電子記録債権が増加したことが主な要因であります。

固定資産の残高は21,898百万円(同3.4%増)となりました。これは、投資有価証券が時価評価により増加したことなどが主な要因であります。

流動負債の残高は7,727百万円(同8.1%増)となりました。これは、固定負債からの振替により、リース債務が増加したことなどが主な要因であります。

固定負債の残高は5,928百万円(同5.8%減)となりました。これは、リース債務が減少したことなどが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は37,796百万円(同4.5%増)となりました。これは、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加したことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異につきましては、本日発表の「第2四半期業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,553,588	12,794,969
受取手形及び売掛金	4,302,442	5,199,920
電子記録債権	978,422	1,540,219
商品及び製品	3,132,047	2,921,926
仕掛品	4,687,260	4,502,957
原材料及び貯蔵品	2,341,518	2,288,966
その他	494,005	356,488
貸倒引当金	△51,277	△51,055
流動資産合計	28,438,008	29,554,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,116,509	13,522,010
減価償却累計額	△8,840,973	△9,251,527
建物及び構築物(純額)	4,275,535	4,270,482
機械装置及び運搬具	16,840,212	17,145,593
減価償却累計額	△14,717,680	△15,153,895
機械装置及び運搬具(純額)	2,122,532	1,991,697
工具、器具及び備品	11,628,498	11,653,274
減価償却累計額	△3,004,904	△3,041,240
工具、器具及び備品(純額)	8,623,594	8,612,033
土地	308,881	320,505
使用権資産	255,653	287,781
減価償却累計額	△71,384	△85,552
使用権資産(純額)	184,268	202,228
建設仮勘定	382,800	422,939
有形固定資産合計	15,897,612	15,819,888
無形固定資産	447,402	412,618
投資その他の資産		
投資有価証券	4,264,161	5,106,760
長期貸付金	87,000	87,000
退職給付に係る資産	118,651	153,167
繰延税金資産	264,613	256,467
その他	103,825	62,881
投資その他の資産合計	4,838,252	5,666,276
固定資産合計	21,183,266	21,898,782
資産合計	49,621,275	51,453,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	876,737	1,187,037
電子記録債務	328,750	295,644
短期借入金	3,713,960	3,615,505
リース債務	306,260	806,720
未払法人税等	77,245	169,143
賞与引当金	469,304	504,253
役員賞与引当金	42,634	45,940
環境対策引当金	20,328	19,964
資産除去債務	31,375	460
未払金	774,786	724,546
その他	506,514	358,656
流動負債合計	7,147,897	7,727,871
固定負債		
長期借入金	1,942,725	1,927,578
リース債務	1,148,713	568,809
繰延税金負債	1,130,835	1,404,063
退職給付に係る負債	1,696,832	1,722,974
役員株式給付引当金	80,841	72,578
資産除去債務	90,653	90,361
その他	199,657	142,048
固定負債合計	6,290,259	5,928,415
負債合計	13,438,156	13,656,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,959,708	7,959,708
利益剰余金	23,597,861	23,645,827
自己株式	△1,503,314	△1,490,100
株主資本合計	35,909,255	35,970,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,090,791	1,563,995
為替換算調整勘定	124,772	1,155,087
退職給付に係る調整累計額	△958,494	△963,285
その他の包括利益累計額合計	257,070	1,755,797
非支配株主持分	16,793	70,655
純資産合計	36,183,118	37,796,887
負債純資産合計	49,621,275	51,453,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)
売上高	9,444,915	10,538,116
売上原価	7,700,221	7,852,154
売上総利益	1,744,693	2,685,962
販売費及び一般管理費	2,745,645	2,401,482
営業利益又は営業損失(△)	△1,000,952	284,480
営業外収益		
受取利息	30,770	18,355
受取配当金	70,146	34,978
持分法による投資利益	—	21,825
保険金収入	37,387	31,324
助成金収入	—	88,759
その他	53,381	52,056
営業外収益合計	191,685	247,299
営業外費用		
支払利息	17,264	18,796
為替差損	56,804	7,769
持分法による投資損失	2,375	—
その他	11,815	3,403
営業外費用合計	88,260	29,969
経常利益又は経常損失(△)	△897,527	501,810
特別利益		
投資有価証券売却益	—	129,969
特別利益合計	—	129,969
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△897,527	631,779
法人税等	237,357	285,676
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,134,884	346,102
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	53,862
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,134,884	292,240

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,134,884	346,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△550,782	473,203
為替換算調整勘定	△298,241	899,596
退職給付に係る調整額	37,149	△4,790
持分法適用会社に対する持分相当額	16,056	130,718
その他の包括利益合計	△795,818	1,498,727
四半期包括利益	△1,930,702	1,844,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,930,702	1,790,968
非支配株主に係る四半期包括利益	—	53,862

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△897,527	631,779
減価償却費	883,342	617,930
持分法による投資損益(△は益)	2,375	△21,825
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△19,089	△27,025
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,073	20,501
長期未払金の増減額(△は減少)	△5,880	△26,140
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,315	△8,262
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,182	610
賞与引当金の増減額(△は減少)	△220,490	25,613
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,514	△3,239
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	△364
資産除去債務の増減額(△は減少)	67,986	△30,977
受取利息及び受取配当金	△100,916	△53,334
支払利息	17,264	18,796
為替差損益(△は益)	32,415	13,833
固定資産除却損	8,945	1,471
固定資産売却損益(△は益)	△630	△1,630
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△129,969
売上債権の増減額(△は増加)	216,404	△1,265,175
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,123,693	665,849
仕入債務の増減額(△は減少)	△221,053	235,538
その他	233,101	9,096
小計	1,096,633	673,078
利息及び配当金の受取額	100,316	52,709
利息の支払額	△17,718	△18,934
保険金の受取額	69,554	67,122
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△410,461	△57,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	838,324	716,203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△273,494	—
定期預金の払戻による収入	544,770	—
投資有価証券の取得による支出	△100,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	133,000
有形固定資産の取得による支出	△484,482	△356,159
有形固定資産の売却による収入	630	2,325
無形固定資産の取得による支出	△172,588	△30,491
資産除去債務の履行による支出	△277,913	△60,214
長期貸付金の回収による収入	86,000	—
その他	△34,933	5,549
投資活動によるキャッシュ・フロー	△712,012	△305,990

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,490,000	200,000
長期借入れによる収入	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△527,395	△622,173
自己株式の取得による支出	△37	△188
割賦債務の返済による支出	△160,583	△163,492
配当金の支払額	△366,781	△243,802
財務活動によるキャッシュ・フロー	735,202	△529,655
現金及び現金同等物に係る換算差額	△163,134	360,824
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	698,380	241,381
現金及び現金同等物の期首残高	11,235,316	12,553,588
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,933,696	12,794,969

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

四半期連結財務諸表提出会社における、貯蔵品の評価方法は、従来、移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）に変更しております。

この変更は、基幹システムの変更を契機として、これに適するたな卸資産の評価方法を採用したことによるものであります。

なお、この会計方針の変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の影響について）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む前提に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	5,301,946	4,142,968	9,444,915
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,301,946	4,142,968	9,444,915
セグメント損失(△)	△466,907	△534,045	△1,000,952

(注) セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	6,220,935	4,317,180	10,538,116
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,220,935	4,317,180	10,538,116
セグメント利益	70,785	213,694	284,480

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、当社基幹システムの変更に伴い、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った方法に変更しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の測定方法に基づき作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。